

A-65 高脂肪食飼育家兎の血清コレステロールに及ぼす大豆油滓の影響

京浜女大家政 ○藤池 雅子
大川 記代

1. 大豆油滓が血液コレステロールに如何に影響するかを検討する目的をもって、高脂肪食飼育家兎に大豆油滓を同時に投与し、その血清コレステロールを追求した。

2. 動物は家兎を使用し、第1群は1日量オカラ350g、ラノリン5g、綿実油2g、大豆油滓3.5gを連日9週間投与した。第2群は各種ビタミン類を含み1%のコレステロールを含むオリエンタル固型飼料を使用した。第3群は1日量オカラ350g、ラノリン5g、綿実油2gを連日投与し対照群とした。各群共に、1～3週毎に血清コレステロールを測定した。

3. 第1群、第2群は第3群の対照群に比し、血清コレステロール値の増加度は緩慢である。なお、第1群と第2群を比較すると第1群の増加度は大である。以上の成績より大豆油滓はコレステロール増加抑制作用を有する。

さらに、オリエンタル固型飼料中に含まれる各種ビタミンは大豆油滓と協調して抗コレステロール作用を有する。